



みなみおか

第13号
2024. 1. 9
発行



あ

けましておめでとうございます。2024年が始まりました。各ご家庭でも子どもたちとのんびり冬休みを過ごされ、気持ちも新たに新年を迎えられたことと思います。今年度も本校の教育活動にご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

さて、1月1日に石川県・能登半島付近にて震度7の地震が発生しました。横に揺さぶられる振動を感じ、地震だとわかりました。近くにおられた方は、たいへん怖い思いをされたと思います。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。我々は、阪神淡路大震災を経験し、たいへんな苦勞をしてきたはずですが、時間が経つとつい日々の生活が中心になりがちです。しかし、今回の地震で、次は大阪を中心とした地震が起こるのでは？と不安がよぎります。被災された方々や残念ながら亡くなられた方々を思うと、毎日食べ物に困らず、トイレやお風呂に入ることができることが本当に幸せなことだと痛感しています。自分自身も高望みをせず、自分の身の丈にあった生活をしていこうと思いました。豊中市からも援助のため人員を派遣していると聞いています。一日も早く、日常の生活に戻れることを心より願っております。

今月は、地震の避難訓練があります。真剣に訓練をし、学校の安心・安全に力を注いでいきます。



年末に、大リーグ エンジェルスに在籍しておられた大谷翔平選手より「グローブ」が届きました。しばらくは職員室で預かり、使用方法については、検討します。子どもたちが触れることができるようにしていきたいと考えています。大切に活用させていただきます。

さて、長めの冬休みでしたが、子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。学童に通っている子どもたちの声は聞こえていましたが、さすがに学校が始まると声の大きさが全然違います。3学期は一番短い学期です。しかし、次の学年に上がる準備

をする大切な学期になります。今年は何か具体的な目標を立て、頑張ることが大切かなと思い、学校目標や自分自身の目標を立てようと考えています。1年間で実現し、達成感を持つことのできる目標をご家族でも考えて見られませんか？

令和5年度「学校安全教室推進事業」
「学校安全教育研究協議会」
「防災教室」



… 文部科学省・大阪府教育庁【主催】

に参加してきました。【テーマ】「防災教育の輪を広げよう～学び合い、学び愛～」でした。関西大学の「社会安全学部」の先生のお話を簡単にご紹介します。

「最後だとわかっていたら」

作：ノーマ コーメット マレック
訳：佐川 睦

あなたが眠りにつくのを見るのが
最後だとわかっていたら
わたしは もっとちゃんとカバーをかけて
神様にその魂を守ってくださるように
祈っただろう

あなたがドアを出て行くのを見るのが
最後だとわかっていたら
わたしは あなたを抱きしめて キスをして
そしてまたもう一度呼び寄せて
抱きしめただろう



1. かけがいのない
「いま・ここ」
→現時充足性
2. もしも自分があなただったら
→互換可能性
3. ふるさとに対する愛着
→トポフィリア

常識を、更新・補強すること
災害列島…災害多発時代
災害列島…気象の極端化
南海トラフ巨大地震
強く・長く、揺れることも…
(30年以内の発生確率70~80%)
みんなが当事者になる

沿岸部・内陸部ともに
安全管理=防災教育
学校=家庭 我が事=我々事

防災訓練(避難訓練)でおこなっているとおり

やればできる！

でも、これで大丈夫？→学び合いが大切

偶然→必然にならないために

子どもたちが校内防災放送を毎年繰り返しながら、学んで考える姿がすばしかったです。